

**Science Report of Kushiro City Museum**

# 釧路市立博物館報

**NO.424**



**2019.9**

## 博物館友の会に入って

友の会に入会して約9年になり、今年度の総会から会長を務めることとなりました。

当時役員をしていた方に「友の会に入りませんか？」と誘われた時は、博物館にはあまり興味が無く、昆虫、動物、魚、草花などの名前や種類も分からないので躊躇しておりましたが、「そんなことを知らなくてもやる事や楽しいことがあるよ」といわれ、軽い気持ちで入会しました。入ってみると、皆さんは得意分野の知識を持っておられ、ついていけるか悩んでおりました。

ですが、自然観察のほかにも、子どもと遊んで体験する、こどもの日の「博物館であそぼう」、秋は「博物館まつり」、年末には「おそなえもちをつくろう」など色々な催しがあり、私でもお手伝いができることがあると分かりました。

近年は、イベントを重ねるごとに会員相互の交流が深まり、会員が積極的に活動へ参加するようになってきたと思います。例えば、友の会が中心となって行う「博物館まつり」では、これまでは役員から会員へ直接声掛けをし、お手伝いをお願いしていました。しかし最近、自発的に「お手伝いすることはありませんか？」と声を掛けていただくようになり、とても良い雰囲気だと感じて

います。現在、会員は110名ほどで、皆さんそれぞれの趣味や特技をもっていらっしやいます。その方を講師とした会員限定のイベントを行うなど、今後も楽しい友の会にしたいと思っています。

最近では新聞などメディアでも博物館の名前を目にする機会が増え、皆さんの認識は変わってきているなどと思いますが、まだ「古い物を展示するためだけの施設」と考えておられる人もいるかもしれません。博物館は展示資料だけではなく、観察会や講演会、刊行物にいたるまで、実に多くの活動を展開しており、地域になくはならない存在です。まだ博物館へ来られていない人は、ぜひ足を運んで、その魅力を知ってほしいと思います。特に、学ぶ意欲の強い中学生や小学生には、博物館はうってつけの場所ですから何度もきてほしいです。さらに、子どもに付き添って一緒に来る親御さんにもその魅力を感じてもらえたらなと思います。

今後も、会員の皆さんと一緒に博物館を盛り上げていけるよう、努力していきたいと思っています。

釧路市立博物館友の会会長 五戸 昭維

## 9月号目次

米内利明氏収集資料について.....	石川 朗・澤田恭平	3
カラスフォトコンテストの開催について.....	貞國利夫	8
釧路市立博物館ブックレットの刊行.....	貞國利夫・石川孝織	10
「はっくん」がミュージアムキャラクターアワード2019で9位を獲得！.....	加藤ゆき恵	10
チャランケチャシ.....	花田 淳・城石 梨奈	11
博物館ニュース.....		12

〈表紙写真〉 カラスは鳥類の中でも、特に夫婦仲が良い鳥です。基本的に一度つがいになると、生涯連れ添うといわれています。写真の2羽は、つがい関係のようで、お互いに羽繕いをして絆を確かめ合っており、仲睦まじい様子でした。(貞國利夫)

(訂正) 館報No.423のp1の表紙写真説明文において、「1964年(昭和39年)」とありましたが、正しくは「1965年(昭和40年)」の誤りでした。謹んでお詫び申し上げます。

釧路市立博物館館報 No.424 2019年9月号 2019年(令和元年)9月30日発行

発行 釧路市立博物館 〒085-0822 釧路市春湖台1-7

☎ 0154-41-5809(博物館)・43-0739(埋蔵文化財調査センター)/ FAX 0154-42-6000

釧路市立博物館Web <http://www.city.kushiro.lg.jp/museum/>

[museum@city.kushiro.lg.jp](mailto:museum@city.kushiro.lg.jp)(博物館) [maibun@city.kushiro.lg.jp](mailto:maibun@city.kushiro.lg.jp)(埋蔵文化財調査センター)

発行責任者 佐藤 志敦 編集 貞國利夫・石川 孝織 印刷 (株)藤プリント